

学会だより

春季年会の開催と講演の申込について

今春の年会は、京大館（河原町荒神橋、徒歩 5 分）において、5 月 12 日（火）から 5 月 14 日（木）の 3 日間開催の予定です。今回も講演発表は 2 会場並行で行われます。春季年会のプログラムは 4 月 20 日発行の天文月報 5 月号に掲載されます。

講演申込みは「〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 東京天文台内：日本天文学会年会係」あてに封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上 3 月 23 日（月）までに必着するよう規定の申込用紙を用いてお送り下さい。

今回、講演数の増加に対処する一方法として、試験的にポスターセッションを設けます。ポスターは会場の関係もあり、30~40 枚と考えています。講演申込みの際、キーワードの後に鉛筆で「口頭セッション発表希望」又は「ポスターセッション発表希望」のいずれかを指定して下さい。ただし、申込みセッション希望数により、希望されたセッションと異なるセッションに変えさせていただきます。場合によっては、あらかじめ御了承下さい。ポスターセッションについては、ディスカッションの時間を確保いたします。

又、今回も post dead-line papers を受付けます。勿論これは、単に講演の締切日に間に合わなかったものではなく、IAU Circular に掲載されるような緊急性・トピックス性に富んだものに限定し、年会直前まで受付けたいと思います。

尚、講演申込み用紙の分野の分類（用紙の裏面にあり）に続けて、プログラム編成のため、内容を最もよく表すキーワードを御記入下さい（例：恒星（内部振動）のよう）。

申込み用紙は、支部理事にまとめて送ってありますので希望者は返送料 60 円切手を同封し、封筒の表に「申込用紙請求」と朱書の上、下記の理事へお申出下さい。

北海道：兼古 昇 〒060 札幌市北十条西八丁目
北海道大学物理学教室

水 沢：真鍋盛二 〒023 水沢市星が丘町 2-12
緯度観測所

仙 台：土佐 誠 〒980 仙台市荒巻字青葉
東北大学理学部天文学教室

東 京：近藤雅之 〒181 三鷹市大沢 2-21-1
東京天文台

名古屋：花輪知幸 〒464 名古屋市千種区不老町
名古屋大学理学部物理学教室

京 都：大谷 浩 〒606 京都市左京区北白川追分町
京都大学理学部宇宙物理学教室

中国・四国：村田俊一 〒783 高知県南国市物部字新
開乙 200-1 高知工業高等専門学校
九 州：上西啓祐 〒860 熊本市黒髪 2-39-1
熊本大学理学部物理学教室

◇講演申込者で、年会出席旅費の補助を希望される方は、支部理事を通じて、3 月 23 日（月）までに必着するよう「東京天文台内 日本天文学会理事長」あてに申し込んで下さい。但し申込みのできる人は、2 月末日までに 61 年度会費納入済みの人で、原則として、連名の場合でもスピーカーであり、正式の給与を受けていない人（大学院生など）に限ります。

◇講演申込み・発表に際しては、特に次の事項を厳守して下さい。

1. 講演内容は完成度の高い研究とする。
2. 講演は 1 人 1 回に限る。
3. スピーカーを発表者の筆頭に書くこと。
4. ビラは使用禁止、スライドまたはオーバーヘッドプロジェクターの使用に限る。

◇5 月 15 日は葵祭のため混雑が予想されます。宿舎は早目に各自、確保して下さい。

◇年会中に集会等のため、会議室の利用を希望される方は、前もって、庶務理事まで御連絡下さい。可能な限り手配したいと思います。

会費改訂について

天文月報 2 月号でお知らせしましたように、昭和 62 年度から以下のように会費が改訂されますので、お間違いのないようお納め下さい。

通常会員会費	年額	5,000 円
特別会員会費	年額	12,000 円
” 学生会費	年額	10,000 円
賛助会員会費	一口/年	30,000 円

《学生会費について》

特別会員のうち、学生・大学院生・研究生・奨励研究員等に相当する場合は、学生会費であることを申告して納入して下さい。申告には必ず郵便払込通知票の通信欄、あるいは郵便はがきをお使い下さい。

訃 報

本会元理事の神野光男氏は、去る 1 月 18 日午前 2 時頃、京都大学飛騨天文台で逝去されました。享年 60 歳。

謹んで御冥福をお祈りするとともに、会員諸氏にお知らせ致します。